



いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!
2018F
Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校

No. 43

平成30年11月30日

保護者アンケート【記述編】 『自由意見』

- 交通安全週間には先生達が朝早くから街頭に立ち、子供達の登校の様子を見守ってくれており、やさしい学校だなと感じております。ただ、あいさつ運動で校舎前に立っている先生の笑顔がもう少しあると尚良いと思います。
- 校長先生の毎朝の見守りには大変感謝しています。
- 通学路、樹木により街灯が隠れており、これからの季節、夕暮れも早いので改善していただきたい。私は、たまに自家用車で子どもを学校へ送っているが、その際必ず、自転車小屋には、校長先生、玄関には藤井先生、「あいさつ」(たぶん毎朝実行しているものと思われます)子ども達と触れ合っている姿が見うけられます。
- 道川でも、車の送迎が多いと思います。夜は街灯少なく、とても不安です。スクールバスも、道川方面でも乗れるように!!!!。何とか働きかけていただきたい。距離なんてどうでもいい。親が迎えに行けないときもある…。何とかお願いしたい…。と思っている道川の父母…たくさんいると思います。私は兄弟みんなバラバラの学校で…。日々、いっぱいいっぱいでした…。(…これって、私のわがまま?)
- *通学路は、冬場は冬場で安全・安心に問題のある点があると思います。気を付けて登下校をして下さるようお願いしたいと思います。スクールバスについても、学校やPTAからは市にお願ひすべき点については訴えております。理に勝って非に落ちる(理屈では勝っているが、実際はかえって不利な結果になっていること)みたいなことにならないようにしなければいけません。難しいですね。朝には、笑顔の皆様からはエネルギーをいただいております。ありがとうございます。
- 修学旅行のディズニーランドを楽しみにしていますが、行動の時間が半日というのは、どうなんでしょうか。半日で何を楽しめというのか、行列に並んでいる間に時間は過ぎて、ただ並んでいたというつまらない思い出しかないと思います。みんなで行く最後の旅行なので、一日にしてほしいです。切実な願いです。
- *まだ、2年生の修学旅行は計画の前の計画の段階です。2泊3日の中で、修学旅行の意義も含め生徒とともに計画を練っている段階です。このご意見も最大限反映できるようにしていきたいと思ひます。



- 学校の行事の日程に仕事の都合であまり参加できずにいるのですが、今年の学校祭は日曜日にあつたので、行くことが出来、また、生徒や先生と顔をあわせたことで、学校の良い雰囲気を感じる事が出来たので良かったです。日曜日くらいしか参加できない私としては、見に行くことができ、本当に良かったです。
- *このご意見をいただきよかったです。学校行事の期日及び日程については非常に難儀します。対外的な行事、部活等の行事、校内の諸運営における影響等から設定されていきますが…。日曜日でよかつたという人もいれば土曜日でよかつたという人もいるかも知れません。これからも、苦悩しながら設定されていくことになると思ひますが、来年度の学校祭は9月下旬の日曜になると思ひます。



- 学校にエアコンを設置するのは難しいだろうから夏場、暑いときだけでも制服着用は無しとし、体育機で登下校、授業を受けるようにしたらどうか。
- *エアコンについて本市は非常に難しいと思ひますが、今年の夏を思えば来年度あたりから対応する市町村が出てくると思ひます。ただし、服装等による対応は以前からしております。たいした対応ではありませんけれど…。
- お便り等で学校での様子が良く伝わってきます。部活動が終わってから体育館の前でさわいでいる生徒が数名いて、送迎の車が来ていても知らんぷりで歩いたり危険な場面を何度か見えています。逆に、スピードを落とさずに駐車場を走行する車もいて危険だなと思ひて見えています。
- *近年、どんどん、まわりを意識しながら自分で判断して行動することに不慣れな生徒が多くなってきていると感じます。子育てにおいて、また、学校教育において、子どもがやりやすいようにと考えて、対応していることが多いと感じます。とても丁寧又はやさしくてよいことだと思ひる半面、自分で工夫しなくてもよい、深く考えなくても出来てしまうことがあると思ひます。1762年にフランスのルソーが著した『エミール』(上)に次のようなことが書かれてあります。260年程前も今と同じようなことが教育の場で論議されていたんですね。「一見したところ、なんでもやすやすと学べるということは、子どもにとって破滅の原因となる。そういうふうには、やすやすと学べるということこそ、子どもがなにか一つ学んでいない証拠であるということが人にはわからない。」安全面でも、危険な場面にあわないようにいろいろな面で工夫されてきております。そうすると、自分から危険を察知する能力が鈍くなってしまうということも言えるでしょう。危険な場面を見たら、いつでもどこでもみんなで注意してあげてください。子どもの将来のためです。よろしくお願ひします。

- ・「よりよくする意見」は特にありません。自分が感じることは、娘（卒業した）を見て思うのですが、やはり、中学時代の「三本柱」が、その後にごく生きておるとしみじみ感じます。息子も在学中には、なかなかピンとこないと思いますが、「田舎の学校」の良さをこれからも続けていって欲しいともいます。
- ・思春期の子ども達は心身の成長過程にあり、先生方には大変ご難儀をおかけするとは思いますが、広い心で、温かい目で、今後とも愛のあるご指導をしていただけたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。家庭でも頑張ります。いつも目をかけていただき感謝しております。ありがとうございます。
- ・一人一人の個性を伸ばしていただき、その上で学級、学校の中で、人との関わりを学んで自分磨きをしてもらえると良いと思います。今ある三本柱など続けていっていただけたらありがたいです。

＊ご理解いただき、ありがとうございます。三本柱とノーチャイルド制は、何度も何度も書いていますが、本当に岩中の不易の部分です。この伝統は、一生の宝となることと思います。成人式、33、42、還暦等の年祝いの時にはきっと話題にのぼること間違いなしですね。



- ・以前、スクールバスの乗り方（乗る順番）の事についての意見がありましたが、この乗り方は、昔からで、私は、大人になってからも人間関係（上下関係）には、必要なことだと思います。そんなに、厳しいことでもないですし、バスの乗り方だけでなく、学校生活、部活動でも自然に上下関係がほどよく身に付いている学校だと思います。

＊今の世の中は、何かいうと、〇〇〇ハラスメント等ということが多くなり、□らしくとか△らしくとも言いづらくなり、言動に気を遣い、本来の指導がしづらくなったり、ストレスで精神的病気になるという事が多くなりました。日本的には自然であったことが洋風文化が定着している今は反感をもたれたり、ネット等の情報でほしい情報はすぐ手に入る半面、SNSでは気持ちのキャッチボールが出来ずにトラブル続出です。今では、上下関係も、学校関係では厳しく言うところは少なくなってきました。しかし、社会に出ると上下関係が厳しく残るところが多くあります。また、礼儀やマナーとしては大切な日本の文化であったりもします。効率を求め、大切な心を失ってはいけないなと思っています。改善できるところは改善し、不易の部分は大切に深化・継承していきたいと思っています。



- ・長期休みのとき、体育館のモップを洗ってくれますが、残してもらわないと掃除に困りました。野球部の人々が外で着替えていて、車で上がって

いくと正面なので目のやり場に困ります。寒いときもありますし…、荷物も…。

- ＊了解しました。話し合って改善していきたいと思えます。
- ・今さらですが、家庭学習が身に付いていません。自分は、成績を上げるためにどのように勉強をしたらよいのか、ノート作りが分かっていない。まわりのみんながノート勉強で工夫して努力していることを知ってほしい。親の話を素直に聞かないので困る。出来ることなら、補習時間をお願いしたいです。
- ＊家庭学習の方法も、普段の学習についても、一昔前からすると、懇切丁寧に指導していると、日々学校を回っていて感じます。やはりルソーという人の言葉通りだと思います。ルソーはその著『エミール』(上)でこんなこともいっています。「**しかしまた、教師が熱を入れている勉強でさけることが難しい過ちは、いつも自分と同じような興味を子どもも感じていると考えることだ。**」子どもの感性を感じ取りながら、指導の改善をしていきたいと思えます。お困りごとがありましたら、億劫がらずにご相談ください。
- ・娘のことでたくさんの先生方に温かく見守っていただき大変ありがたく思っています。少しずつ体調も良くなってきているようなので…。よろしく願います。

＊担任や養護教諭と連絡を密に取りながらいつでもご相談ください。学習面においても、心配なことがあれば相談ください。今は脳科学的にも進んできており、色々な検査があります。検査をしたから改善されるということではありませんが、人間の脳の様々な処理能力の中でどこに困り感があるのかを知ることによって、よりよい支援方法が見つかりました。また、何よりも周りの人間が優しく対応できるようになり、生徒が落ち着いてきます。また、検査等をする事は将来の進路には全く支障はきたしません。高校側では、不都合な情報ほど詳しく教えてください。指導に役立てます。といっています。どうぞ気軽にご相談ください。この間の小中校長連絡協議会で高校の校長先生方がおっしゃったことを一つだけ紹介します。「小中との決定的な違いは進級、卒業の規定にふれて、進級・卒業が出来ない場合がある」義務教育ではないので当たり前と言えば当たり前です。その段階につなげるために今があり、高校では就職又は大学進学につなげるために今があります。いずれにしても今を一生懸命に、時には息抜きをしながら生き抜くことが大切ですね。多少の回り道があっても、一生の中ではほんのちよっとしたことである場合があります。プラス思考で…。



＊学校外からのアンケート・調査等も多くなっている中、また、普段のお仕事等で忙しい中、学校アンケートにご協力くださりましてありがとうございます。本アンケートは、私の学校経営・運営に対する評価だと真摯に受け取っているつもりです。すぐに対応したこともありますし、市へ要望していることもあります。今後も、校内で検討しながら改善を図っていきたく思います。よろしく願います。《最後に私の愚痴を一つ》学校では禁止したい程のスマホ等を親が買い与え、学校外で使用し、ネット上で問題が起き、学校に相談…学校運営がその対応に時間がいくらあっても足りないほどで…、みなさんは、この状況をどう思いますか…。